

### 3. 東海地区 CSI 事業報告会

平 野 靖

情報連携基盤センターでは、9月22日に情報連携基盤センター、附属図書館及び国立情報学研究所の共催で第一回東海地区 CSI 事業報告会を開催しました。最先端学術情報基盤 (CSI) 事業は国立情報学研究所が行っている事業であり、この事業のうち、名古屋大学情報連携基盤センターは大学間電子認証基盤、次世代学術情報ネットワーク及びグリッドに関するプロジェクトに、名古屋大学附属図書館は次世代学術コンテンツ基盤に関するプロジェクトに参画しています。

今回は CSI 事業で行われているさまざまなプロジェクトのうち、電子認証基盤に焦点を当て下記の講演をしていただきました。会場には東海地区の各大学から約 50 人の教員・事務職員・技術職員が訪れました。大学における電子認証システムに対する関心の高さがうかがえます。

#### 第一部 最先端学術情報基盤 CSI について

「最先端学術情報基盤 (CSI) の構築に向けて」安達 淳 (国立情報学研究所)

#### 第二部 名古屋大学における認証アプリケーションの開発

「Web Application のための Single Sign On と Authorization 環境」内藤久資 (名古屋大学)

「IC カードによる共有端末認証システムの構築について」葛生和人 (名古屋大学)

#### 第三部 大学における認証システムの事例報告

「IC カードを利用した出席管理の失敗事例と考察」石田隆城 (星城大学)

「名古屋工業大学における情報基盤整備と IC カード認証」松尾啓志 (名古屋工業大学)

まず、第一部で国立情報学研究所の安達先生による CSI 事業の全体紹介をしていただき、第二部で情報連携基盤センターが担当している認証アプリケーションの開発状況を説明しました。さらに第三部で星城大学及び名古屋工業大学での IC カードの導入事例のご紹介をしていただきました。次号のセンターニュースで安達先生と葛生先生のご講演の要約をご紹介します予定です。



安達先生

本報告会は数回にわたって開催され、第二回報告会は機関リポジトリをメインテーマとして11月8日に名古屋大学附属図書館で行われました。なお、東海地区 CSI 報告会の詳細は随時、下記の URL に掲載します。

[http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/CSI\\_hokoku-kai/](http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/CSI_hokoku-kai/)



葛生先生

(ひらの やすし：名古屋大学情報連携基盤センター大規模計算支援環境研究部門)